



# 大空 (たいくう)

令和元年度  
第 7 号  
11月 29日 (金)

## センター試験に 150 名が出願 普通科出願率 96.8%

来年 1 月 18・19 日に行われるセンター試験の出願受付が 9 月 30 日から 10 月 10 日の期間に行われ、本校からは普通科 154 名が出願しました。この結果、普通科の在籍者数に占める割合が 96.8%となり、昨年度に引き続き高い割合でした。

あと 1 カ月半後には本番が待ち受けていますが、センター試験が近づくにつれて肝に銘じるべきことは「焦らない」ことです。問題数をこなすことばかりに気を取られると足下を掬われる結果となります。次の 3 点に注意しながら実力をつけて欲しいものです。①不正解だった問題の解き方を説明できるか自分に問うこと。②苦手としている科目にこそ、宝が隠されていること。③模試やセンター演習を利用して、問題を解く順番や時間の使い方を自分なりに身に付けること。

3 年生がこれまで培ってきた学力を本番で見事に発揮してくれることを期待しています。また、保護者の方をはじめとして、自分をサポートしてくれる周囲への感謝の気持ちも忘れないで欲しいと思います。

## 就職内定状況 民間企業好調・公務員受験激戦

9 月中旬から始まった民間企業の就職試験において、11 月末までに 7 名の内定を頂くことができました。昨年度に続き好調な状態です。一方公務員試験においては、受験者 15 名中内定者が 6 名で、6 名が結果待ちの状況です。公務員試験は年々厳しさを増しているようです。本人の希望に基づいた指導を継続するとともに、粘り強く支援してまいります。

## 大学入試英語成績提供システム導入延期について

先に本校 HP でもお知らせした通り、英語民間試験の成績提供システム導入が延期されました。すでにそのシステムに係る申込書を提出していただきましたが、大学入試センターからの指示により返却いたします。この申込書については今後利用することはありません。2 学期の通知表に同封いたしますので、ご家庭で確実に処分してください。

生徒たちの将来を考えたとき、英語の 4 技能（読む・書く・聞く・話す）は大学入試にある・なしに関わらず、その重要性は増すものと思います。4 技能向上を目的とした教育活動に今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
(文責 進路指導部長 芦野浩二)

## 修学旅行を終えて

3 泊 4 日の修学旅行は、天気にも恵まれ非常に良い旅行になりました。生徒たちにとっても非常に意味あるものになったようでした。生徒の感想を紹介します。

●今回の修学旅行を通して、京都の昔ながらの街並みを歩いたり、お寺や神社を見たりしたことすごい学ぶものがありました。また、大阪ではずっとテレビでみてた道頓堀に行ったり、串カツを食べたりすごい楽しめたのでよかったです。予定通りに行かないことも沢山ありましたが、班員全員で協力して行動することができたのでとてもよかったです。(1 組女子)

●四日目は、楽しみにしていた水族館に行けました。ジンベイザメを展示している、数少ない水族館である海遊館は、一つ一つの展示が大きく、大水槽やトンネル型的水槽に目を奪われました。初めて見るジンベイザメはとても美しく、メディアで見るとは違い、とても印象に残りました。魚は食べるだけでは無いと分かっているのも美味しそうに見えるのは、魚を三枚におろすことができるようになったからだだと思います。とにかく、全てがよい経験になりました。ジンベイザメは他にも美ら海水族館にいるので、行ってみたいくなりました。(2 組女子)

●関西の方の人はイントネーションがやっぱり違っていたり、話しかけてくれたり、凄いコミュニケーション能力が高いなと感じた。慣れない場所だったが、班員のみんなと協力し合い、最後まで楽しめた修学旅行だった。ほんと楽しかったです!! (3 組女子)



●初めて関西の地に来た。まず、4日間でいろいろな施設を利用させていただいて、多くの人がいるわけだから、そこでの行動の大切さを学んだ。また、山形とも違うところもたくさんあり、危機感を持って動くことも大切だと思った。電車が五分に一本あるのはとてもありがたい。山形の環境や設備もこれに近づけるように将来尽力していきたい。(4組男子)

●修学旅行を通し普段お目にかかれない歴史の建造物を見ることができ、またガイドさんの説明もあって色々知ることができた。個人的に一番良かったのは太陽の塔に班で訪れたこと。目の前でみて写真を撮ることが自分の昔からの夢だったためとても良かった。ほかにも色々経験を通していい修学旅行になった。(5組男子)

●修学旅行へ出発する前に、人との出会いに感謝できる旅にしたいと言っていた。今回の修学旅行は、本当にその通りになった。関西の人たちはとても思いやりのある人が多く、道で困っていたら迷わず声をかけてくれて目的地まで案内してくれた。こんなふうに率先して行動できる人になりたいと思った。(6組女子)

※生徒の感想をそのまま掲載しました。(文責 2学年主任 荒井清明)

## 『「未来へのドア」プロジェクト成果発表会』の開催について

平成29年度(2017年度)から始まった授業『「未来へのドア」プロジェクト』(総合的な探究(学習)の時間)は、本年度で3年目を迎えました。この授業は、教科や科目の枠を超えた学習を通して、自己のあり方・生き方や進路と合致した課題を自ら発見し、よりよく解決していくための能力を育成することを目的としています。1、2年生は「国語、社会、数学、理科、英語(国際)、町づくり、医療福祉、教育、体育(1年生のみ)」のゼミに分かれて4名程度の班を形成し、毎週水曜日5校時に探究活動を行ってきました。以下、生徒が取り組んでいる論題の一部を紹介します。

「童話「泣いた赤鬼」における「青鬼の自己犠牲」を題材とした授業は小学校何年生で成立するのか(国語ゼミ)

「子どもが病気になった!保育施設にお迎えに行くのは父親か、母親か ~山形の子育てを考える~(医療福祉ゼミ)

以上のような論題について、生徒全員が1名につき7分間(発表4~5分、質疑・評価:2~3分)の発表を、12月18日(水)の「成果発表会」にて行います。詳細は別紙にてご案内しますので、保護者の皆様に足を運んでいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

(文責 学セン部長 井上 敦夫)



昨年度の成果発表会の様子

## 各部の活躍

### ◎サッカー部

11/2に、天童市にあるNDソフトスタジアム山形で、第98回全国高等学校サッカー選手権大会山形県大会の決勝戦が、晴天の下行われました。対戦相手は米沢中央高校です。序盤から押し込まれる展開でしたが、GKとDFを中心に全員の粘り強い守備で相手にゴールを割らせず、延長戦に突入しました。両チームとも足をつる選手が続出するほどの激しい攻防を繰り返し、延長戦も無得点のまま、PK戦となりました。両チームとも4人目まで成功し、米沢中央の5人目の選手が外しました。スタジアムの全員が固唾をのむ中、最後山形中央5人目の3年の小川選手が見事決めて、5-4で延長を含め計100分間の熱戦に終止符を打ち、山形中央サッカー部の3年ぶり12回目の全国選手権大会の出場が決まりました。先日、組み合わせ抽選が行われ、来年1/2に愛媛県代表今治東中等教育学校と対戦することが決まりました。ぜひ山形県代表として頑張ってください。

### ◎柔道部女子

11/23・24に県体育館で、来年3月下旬に日本武道館で開催される全国高等学校柔道選手権大会の山形県予選会が行われ、本校柔道部女子が団体で見事に3連覇を達成し、全国選手権大会への出場を決めました。また、個人では5階級中4階級で優勝して、全国選手権大会の切符を手に入れました。これから3月まで十分な練習をして、これからの大きな大会で更に躍進できるように期待したいと思います。

### ◎スケート部

11/16・17にノルウェーで、11/23・24にオランダでジュニアWC第1戦・第2戦が行われました。結果、第1戦では3年小坂凜選手が3000mで2位、マススタートで4位、3年森野太陽選手がマススタートで5位、2年高橋侑花選手が1000mと1500mで6位、第2戦では小坂選手が3000mとマススタートで3位、森野選手がマススタートで4位、高橋選手が1000mで7位と大健闘でした。ウィンタースポーツはこれから本番ですので、この調子で頑張ってください。(お詫び:先月の「大空」で小坂選手のお名前を“凜”と間違えてしまいました。正しくは“凜”です。お詫びして訂正いたします。)